

平成31年

新年のご挨拶

新年、明けましておめでとうございます。
皆様方には、希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのこと、心からお喜び申し上げます。

日頃より、かすみがうら市政に対する温かいご支援とご協力を賜り、深く感謝を申し上げます。

早いもので私が三期目の市長に就任し半年が経過し、新年を迎えることができました。これまで以上に、市民の皆様から数多くの温かいご声援と力強いバックアップをいただき、改めて、その市政に寄せる皆様からの期待と責任の重大さを身にしみて感じているところであります。

市政運営にあたりましては、引き続き市民の皆様にご十分なご理解をいただきたく努力を尽くし、行政がそれぞれに対話をしながら「協働のまちづくり」に取り組むことにより、魅力あるまちづくりを進めてまいります。



かすみがうら市長

坪井 透

また、土浦市と共同で整備を進めておりますJR神立駅西口整備事業につきましては、平成33年度の完成を目指してまいります。

企業誘致

次に、企業誘致につきましては、茨城県と連携して県外からの本社機能移転促進策を進めており、この度、県の第1号、第2号承認案件に本市への立地が決定しました。企業立地は雇用の確保・税収の増

など多くの効果が期待されることから、引き続き積極的なトップセールスに努めてまいります。更に、「元気な「かすみがうら市」を実現するためには、地場産業の振興を抜きには考えられません。課題は山積ですが、関係団体の皆様方のご協力をいただきながらその振興に努めてまいります。

市民の皆様には、どうか本年も変わらぬご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。年頭にあたり、皆様方のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、新年の挨拶いたします。

健康まちづくり

さて、私は常々健康が第一であると考えております。近年は健康志向が高まっており、さまざまな健康器具や健康食品なども広く流通し、日々進化を続ける医療技術も相まって、今や日本は世界に名だたる長寿大国となりました。しかし、このような中でも、いつまでも健康で自立した生活を送れるようになることは、皆さん共通の願いです。それには、病気になる前から治すのではなく、病気になる前の生活習慣が肝要です。

本市といたしましても、一昨年の「健康まちづくり宣言」にはじまり、市民の健康寿命の延伸を目指した健康づくり事業を総合的に推進してまいります。その中の事業といたしまして、市民の皆様に参加、体験していただく「健康まつり」を開催するほか、筑波大学や土浦協同病院、神立病院と各モデル地区(中志筑、上志筑、高倉、五反田)が連携し、生活習慣病などを重点的に改善する生活習慣病改善健康づくりモデル事業を展開して健康増進を図ってまいります。

施設面では、廃校となりました旧穴倉小学校施設を利用し、複合型健康福祉の拠点として「仮称・ウエルネスプラザ」を平成31年度の完成を目指してまいります。市内に分散配置となっている保健・福祉施設の機能を集約し、さまざまな「ミニシティ形」成のできる複合施設として整備をいたします。

学校統合

次に、千代田中地区小学校の統廃合につぎましては、「かすみがうら市小中一貫教育基本方針」に基づき、現千代田中学校施設の増改築を行い「義務教育学校」として、平成34年度の開校を目指し整備を進めてまいります。

学校施設整備

次に、下稲吉中学校の体育館整備につぎましては、現敷地が手狭なことや避難所としての機能も整備することから、平成30年度において用地の購入に向けた土地鑑定調査を実施しております。この調査結果をもとに平成31年度に用地購入の予算を計上するとともに、事業推進に向けた計画策定に着手してまいります。

交通網整備

次に、道路整備につきましては、石岡・かすみがうら広域幹線道路(東西縦貫道路)を、石岡市との共同事業により整備を進めてまいります。平成30年度は概略設計において路線を確定し、平成31年度からは詳細設計や地元説明会を経て用地の確保を進めてまいります。

